

停電時の備えに！EVから家庭に電力供給

車→家 給電システム エンジン 停電時の備えに提案



エンジンが普及に力を入れるV2Hシステムの充放電設備（左奥）＝湖西市で（同社提供）

LPガス販売のエンジン（浜松市中区）は、電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド車（PHEV）から住宅全体に給電できる「V2Hシステム」の普及に力を入れている。停電時の備えのほか、売電価格が下落している太陽光発電の余剰電力の有効活用策として提案する。

V2Hは「ビークル・トゥー・ホーム」の略で、充放電設備を経由して車載電池に蓄えた電気を住宅へ送るシステム。一昨年秋の台風による大停電をきっかけに、EVの所有者から「EVを家の電源に使えば」と相談を受け、昨年十月から取り扱いを始めた。

充放電設備は、ニチコン（京都市）製の標準モデル

と通信機能を備えた上級モデルの二種類あり、価格は工事費込みで百万円から。二日間ほどの工事で設置できる。対応車種は日産自動車のリーフや三菱自動車のアウトランダーPHEV、トヨタ自動車のプリウスPHVなど七車種。

停電時には、電池容量四十割時で平均的な家庭の三分の電気をまかなえるという。逆に、住宅の太陽光パネルで発電した電気をEVに充電したり、電気料金の安い夜間にEVを充電したりすることもできる。

エンジンはこれまでに県内で二件を施工した。担当者は「環境に優しいEVを走る蓄電池として活用してほしい」と話す。

（山田晃史）



エネンGene

ご家庭の節電・防災対策

電気の備えをはじめませんか?

クルマの電気が家でも使える

地元で60年以上! ガス会社のエンジン

蓄電池・V2H 見積もりキャンペーン

電気自動車（EV）から家庭に電力を供給する「V2H（ビークル・トゥー・ホーム）」。
災害時の緊急電源としてだけでなく、平常時も電気代の節約に役立ちます。

【災害時に活躍】

供給できる総電力量は、最も多いケースで、一般家庭のほぼ1週間分。停電時でも安心！

【光熱費削減に活躍】

太陽光発電の併用で、昼間に電気を車にため、装置を経由して夜間に使用。電気代が2割ほど、節約！

皆様が、非常時でも安心して生活できますように、また、暮らしのお役に立てますようサポートさせていただきます。

令和2年(2020年)4月7日(火)

中日新聞掲載